

次の10年を見据えて

世界遺産や文化財を活かした まちづくり・地域づくり

2025年は世界文化遺産「明治日本の産業革命遺産」
登録10周年の年でした。

世界遺産登録から10年。世界的に価値が認められた遺産をはじめ
地域の宝をこれからも守り、次世代に伝えていくために、
次の10年で取り組んでいくべきことはなにか？

同じ構成遺産を持つ長崎の、歴史まちづくりの実践などを交えて

■お話しをいただきます。

日時：2026年1月9日(金) 18:30～20:00

会場：鹿児島市役所みなと大通り別館
6階 ソーホーかごしまA会議室

定員：50名 聴講無料 司会：東川隆太郎（かごしま探検の会）

申し込み：前日までに下記フォーム等から申し込む

講師：梅元建治氏



長崎市議会議員として活動しながら、一般社団法人ナガサキベイデザインセンター代表理事、長崎県景観形成（地域振興）アドバイザー、長崎居留地歴史まちづくり協議会事務局長、長崎居留地まつり実行委員会事務局長、NPO法人長崎コンプラドール理事、長崎市南大浦歴史と夢溢れるまち協議会会長などもつとめる。

★トピックス★

1. 世界遺産とまちづくり
2. 歴史的風致維持向上計画（九州歴史まちづくり認定都市）とエリアマネジメントについて
3. 次世代に伝える活動について

■ 申し込み：問い合わせ先 TEL.099-227-5343

NPO法人かごしま探検の会 mail.info@tankennokai.com

この講演会はかごしま近代化産業遺産パートナーシップ会議の委託を受けて行います



申し込みフォーム